



特別展

ポスター、ビラ、チラシから印刷まで 印刷でポスターな

20世紀巨匠の版画達展

Sasa Adairコレクション

花巻市博物館の標記特別展が、次のとおり開催されます。是非おいでください。

開催期間 令和4年7月16日（土）～8月28日（日）

展示構成 第1章 美術雑誌「デリエール・ルミロワール」の表紙

第2章 19～20世紀のリトグラフによるポスター

第3章 Sasa Adairコレクションに見る多彩な版画たち

第4章 若き日のアメリカ パリッシュとロックウェルを中心に

見学料金 一般350円（300円） 小中学生150円（100円）

市内小中学校に在学している児童・生徒は「まなびキャンパスカード」の提示で無料になります。（土日祝日夏休み期間）また、小学生の付添いの保護者は1名に限り無料になります。 ※（ ）内20名以上の団体割引

関連事業 特別記念講演会 「20世紀巨匠画家たちと版画表現へのこだわり」

講師 南アルプス市立美術館長 向山 富士雄 氏

日時 7月30日（土） 13:30～15:00

会場 花巻市博物館 講座・体験学習室

※聴講は無料ですが、事前の申込みが必要です。申込みは6月30日から受付を始めています。

※今回の特別展では、ギャラリートークは予定されておりません。

版画は、情報伝達的手段であると同時に、人々が芸術に親しむ機会を広げた大衆芸術です。日本では既に江戸時代の浮世絵が庶民に親しまれ、大衆芸術として大いに発展しました。

アメリカ在住の笹慶之氏は、「科学的な事象(化学)を理解するには、自然や芸術を理解する気持ちが必要である」との信条で、身近な芸術としての”版画”をアメリカの画廊や絵画市で収集してきました。そのコレクションは、笹氏と版画収集を温かく見守ってくれた奥様の家系名をひとつにして「Sasa Adairコレクション」と名付けられ、本展で日本初公開となります。

（「花巻市博物館特別展20世紀巨匠の版画達展」のチラシより）

6月の市内小中学校の博物館利用の紹介

出前授業「戦争と花巻」

花巻北中学校3年生



500ポンド爆弾の実物大パネル

花巻北中学校3年生は、8月10日に開催される「戦没者追悼・平和記念式典」に奉納する千羽鶴作成の意義づけとして、花巻市博物館の出前授業を利用しました。最初に、学芸員によるスライドを使った解説を聞き、その後、体育館の後ろに4つに分けて展示された実物資料を、4クラスが交代して観察をしました。

花巻北中学校が、生徒が今回の出前授業から分かったことや感じたことをまとめたものを数点送っていただきましたので、その中から1点を紹介します。

花巻空襲の話聞いてみて、今まで花巻で暮らしていたのに、全然知らなかったことがたくさんあって、驚きました。

爆弾が投下された場所や時間、投下された目的は何かなど、ただ爆弾が花巻に落ちたということだけでなく、誰がどこに何のために落としか、どんな爆弾が落ち、それによって出た被害はどれくらいなのかという細かい所まで教えてくださいましたので、今日一日とても多くのことを学ぶことができました。また、当時使われていた爆弾の破片や、兵士が着ていた軍衣など、自分の手で触れたり見たりすることで、戦争や空襲の恐ろしさをより一層深く知ることができました。爆弾が実際に投下され、橋にくぼみができる所を見に行ったことはありますが、花巻だけでこんなにも爆弾が投下され、大きな被害があったことは知らなくて、私達もこれから多くのことを学んで、爆弾が投下されたこと、それによっていろいろなものを失ってきたことを、何年後も忘れられることなく、一人一人が平和を作っていくために努力しなければならないと感じました。

出前授業「縄文時代の暮らし」

笹間第二小学校6年生

笹間第二小学校は、昨年度に続いて今年度も出前授業「縄文時代の暮らし」を利用してくださいました。前半のスライドを使った解説の中で、笹間第二小学校の近くには「尻平川遺跡」や「横志田遺跡」、「横志田中村遺跡」などがあることを学習しました。そして、後半は縄文土器や石器について学芸員の解説を聞きながら観察したり、土器片を手にとって観察したりしました。

